

# 医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会  
ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6ヶ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、  
簡単シミュレーション！

医師年金 検索 

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を  
入力するだけで、簡単に受取年金額の  
シミュレーションができます。  
ぜひお試し下さい。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

JMA 公益社団法人  
 日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成	
保険料	● 基本：月払 加算：月払
始齢年金	100,000円 50,000円
基本年金	月払保険料 15,000円
支給年齢	70歳
支給期間	20年
受取額	103,300円
15年受取額	1,559,400円
● B1コース	
支給年齢	65歳定期15年
支給期間	82,000円
基本年金	月払保険料 17,200円
支給年齢	70歳
受取額	103,300円
15年受取額	1,559,400円
● B2コース	
支給年齢	65歳定期15年
支給期間	36,600円
基本年金	月払保険料 17,200円
支給年齢	70歳定期15年
受取額	38,800円
15年受取額	25,212,000円
● B3コース	
支給年齢	70歳定期15年
支給期間	51,600円
基本年金	月払保険料 17,200円
支給年齢	70歳定期15年
受取額	206,300円
15年受取額	26,052,000円
● B4コース	
支給年齢	65歳定期15年
支給期間	18,000円
基本年金	月払保険料 17,200円
支給年齢	70歳定期15年
受取額	149,200円
15年受取額	26,873,000円

20150601S8

The screenshot shows the homepage of the Japanese Medical Association's Physician Pension website. At the top, there are links for 'Physician Pension Features', 'Physician Pension Information', 'Simulation', 'FAQ', 'Procedure Guide', and 'Contact Us'. A green button labeled 'Quick Start' is visible. Below the header, a main title reads 'Secure and Safe Future' with the subtitle '-Can you maintain your current living standard with a pension alone?' A red box highlights two buttons: 'Insurance Premium Simulation' and 'Pension Simulation'. To the right, a large orange cloud-shaped callout states: 'You can now simulate the 'Insurance Premium' and 'Pension' sections on the top page of the Physician Pension website!'.

The screenshot shows the 'Insurance Premium Simulation' section. It features a form where users can input their birth date (set to January 1, 1950) and select their payment method: 'Monthly', 'Annual', or 'One-time'. Below this, there are fields for additional insurance premiums and a dropdown for the number of installments (10, 20, 30, 40, 50, 60). A red box highlights the 'Calculate' button. To the right, an orange cloud-shaped callout states: 'Enter the required information and click the 'Calculate' button after selecting the 'Calculate' button.' Below the simulation form, a note says: 'This simulation result is based on the calculation results (Year of Birth) of the pension plan, which is calculated by the pension plan.' There is also a 'Contact Us' button at the bottom.

シミュレーション結果が分かり易く表示されます。

**医師年金シミュレーション**

**保険料からプラン作成 (試算結果)**

試算結果は簡易計算による概算です。

**保険料**

■ 基本：月払 加算：月払
加算年金 (10 口) 月払保険料 60,000 円
基本年金 月払保険料 12,000 円
40歳 支払期間 24 年 7 カ月 ( 295 回 ) 合計月払保険料 72,000 円

**受給年金**

● B1コース

加算年金 保証期間15年 86,500 円
基本年金 保証期間15年 17,300 円
65歳 受取月額 103,800 円 103,800 円
15年受取総額 16,584,000 円

● B2コース

加算年金 5年確定型 370,100 円
基本年金 保証期間15年 17,300 円
65歳 70歳 80歳 受取月額 387,400 円 17,300 円 17,300 円
15年受取総額 25,320,000 円

● B3コース

加算年金 10年確定型 191,900 円
基本年金 保証期間15年 17,300 円
65歳 75歳 80歳 受取月額 209,200 円 17,300 円 17,300 円
15年受取総額 26,142,000 円

● B4コース

加算年金 15年確定型 132,600 円
基本年金 保証期間15年 17,300 円
65歳 80歳 受取月額 149,900 円 17,300 円
15年受取総額 26,982,000 円

● 注意事項です。お読みください。

- 加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- 「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生受け取ることができます。
- 「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- 「受取コースの選択 (B1~B4)」は、受取開始の時にお決めいただきます。
- 受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- 「受取年金月額」は概算です。現在は年利率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

● このページの先頭へ

(5月10日～7月9日)

カリキュラムコード(略称:CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1	全身倦怠感	18	けいれん発作	35	胸やけ	52	不安	69
医療倫理:臨床倫理	2	身体機能の低下	19	視力障害、視野狭窄	36	腹痛	53	気分の障害(うつ)	70
医療倫理:研究倫理と生命倫理	3	不眠	20	目の充血	37	便通異常(下痢、便秘)	54	流・早産および満期産	71
医師一患者関係とコミュニケーション	4	食欲不振	21	聴覚障害	38	肛門・会陰部痛	55	成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5	体重減少・るい瘦	22	鼻漏・鼻閉	39	熱傷	56	慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6	体重増加・肥満	23	鼻出血	40	外傷	57	高血圧症	74
医療の質と安全	7	浮腫	24	嘔吐	41	褥瘡	58	脂質異常症	75
感染対策	8	リンパ節腫脹	25	胸痛	42	背部痛	59	糖尿病	76
医療情報	9	発疹	26	動悸	43	腰痛	60	骨粗鬆症	77
チーム医療	10	黄疸	27	心肺停止	44	関節痛	61	脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11	発熱	28	呼吸困難	45	歩行障害	62	気管支喘息	79
地域医療	12	認知能の障害	29	咳・痰	46	四肢のしびれ	63	在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13	頭痛	30	誤嚥	47	肉眼的血尿	64	終末期のケア	81
災害医療	14	めまい	31	誤飲	48	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65	生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15	意識障害	32	嚥化困難	49	乏尿・尿閉	66	相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16	失神	33	吐血・下血	50	多尿	67	その他	0
急性中毒	17	言語障害	34	嘔気・嘔吐	51	精神科領域の救急	68		

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
05/10 (木) 19:00	中頭病院	第二回中部地区OACS(おきなわ喘息コントロールセミナー) <b>(日医生涯教育講座)</b> ①喘息における病診連携～専門医に紹介するタイミング～ ②喘息の救急受診患者さんの特徴と対策	①根井 雄一郎(中部病院呼吸器内科) ②伊志嶺 朝彦(中頭病院副院長)	①0.5単位・46) ②0.5単位・79)	アステラス製薬(株) 本田 昌平 098-860-6753 参加費 なし
05/10 (木) 19:10	ダブルツリー b y ヒルトン那覇 首里城	学ぶ×活かす～最新のCOPD 診療～ <b>(日医生涯教育講座)</b> ①実臨床におけるCOPD診療 ②症例から考える適切なCOPD薬物治療～LAMA/LABA配合剤の新たな位置づけ～	①原永 修作(琉球大学医学部附属病院総合臨床研修・教育センター特命准教授) ②放生 雅章(NTT東日本関東病院呼吸器センター長)	①1.0単位・70) ②0.5単位・19)	日本ベーリングaine ルハイム(株) 安田 正太 098-867-5605 参加費 なし
05/12 (土) 13:30	沖縄県医師会館	経腸栄養セミナー ①経腸栄養での消化器合併症時の流動食の選択方法 ②経腸栄養管理における下痢及びミネラル管理について	①明石 哲郎(済生会福岡総合病院内科統括部長兼脾・胆道内科主任部長) ②湧上 聖(宜野湾記念病院院長)		キューピー(株) 奥原 理恵 098-863-9200 参加費 なし
05/17 (木) 19:30	ANAクラウンブ ラザホテル沖縄 ハーバービュー	沖縄県の糖尿病治療を考える会 <b>(日医生涯教育講座)</b> 内分泌・神経・免疫の連関から考える糖代謝調節	中里 雅光(宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授)	1.0単位・76)	武田薬品工業株式会社 黒島 雄二 098-866-4568 参加費 なし

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
05/19 (土) 19:00	沖縄医師会館	RA&PsA Forum in Okinawa(日医生涯教育講座) ①骨関節病変からPsAを考 察する～IL-17Aの 役割も含めて」 ②JAKを標的とした関節リ ウマチ治療の新時代	①辻 成佳(独立行政法人国立病 院機構大阪南医療センターリ ュウマチ・膠原病・アレルギー 科) ②新納 宏昭(九州大学大学院医 学研究院医学教育学講座)	①1.0単位・61)73) ②1.0単位・10)61)	日本一ライリー(株) 富永 敏之 092-724-0450 参加費 2,000円
05/19 (土) 20:00	ダブルツリー b y ヒルトン那覇 首里城	沖縄県耳鼻咽喉科医会講演 会(日医生涯教育講座) 耳鼻咽喉科難治性感染症の 治療戦略	伊藤 真人(自治医科大学とちぎ 子ども医療センター教授)	1.0単位・39)46)	真栄城耳鼻咽喉科 真栄城 徳秀 098-862-3387 参加費 なし
06/08 (金) 19:10	ANAクラウンブ ラザホテル沖縄 ハーバービュー	第6回沖縄PTH研究会 (日医生涯教育講座) ①人口ピラミッド変動時代に おける骨折に対する積極的 的保存療法の意義 ②骨粗鬆症を合併した脊椎疾 患に対するPTHの有効性	①神宮司 誠也(九州労災病院副 院長整形外科) ②波呂 浩孝(山梨大学大学院総 合研究部整形外科学講座教 授)	①1.0単位・59)60) ②1.0単位・77)82)	旭化成ファーマ(株) 四宮 康雄 098-869-9540 参加費 1,000円
06/12 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①未定(未定) ②未定(未定)	①1.0単位・9)15) ②1.0単位・1)73)	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-888-5552 参加費 なし
06/23 (土) 09:00	沖縄コンベン ションセンター	第30回日本運動器科学会 (日医生涯教育講座) ①プロフェッショナルによる 運動器リハビリテーション治療でロコモを克服— メディカルチェックをした上で熟練療法士施行の運動療法— ②関節リウマチのリハビリテーションとくにハンドリハビリテーション ③肩こり症・腰痛症に対するエコーガイド下トリガーポイント注射—myofascial releaseの解析—	①田島 文博(和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講 座教授) ②村澤 章(新潟県立リウマチセ ンターナンス院長) ③竹川 克一(竹川整形外科クリニック院長)	①1.0単位・19)61) ②1.0単位・61)73) ③1.0単位・59)60)	日本運動器科学会 玉那覇 千代子 098-895-1174 参加費 なし
06/24 (日) 08:30	沖縄県市町村自 治会館	第30回日本運動器科学会 (日医生涯教育講座) ①インシデント、クレーム報 告から考える、整形外科 における医療安全 ②人工関節周囲感染の予防 —手術室環境を中心とし て— ③立ち止まる医療倫理の ススメ	①白土 英明(船橋整形外科病院 副院長) ②山本 謙吾(東京医科大学病院 整形外科主任教授) ③金城 隆展(琉球大学医学部附 属病院地域医療部臨床倫理士)	①1.0単位・4)7) ②1.0単位・8)10) ③1.0単位・2)3)	日本運動器科学会 玉那覇 千代子 098-895-1174 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い:7月10日～9月9日迄の講演会例会等が決まれば、5月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。



## 平成30年度 産業医研修会案内

平成30年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記によりFAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

## 研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A · B · C · D · E · F · G · H
参加申込者	氏名 :
	氏名 :
	氏名 :
	氏名 :
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 · 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務1課 與儀  
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

## 訂正とお詫び

4月号会報掲載の産業医研修会のご案内「平成30年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画」97頁に誤表記がありましたので、お詫びして訂正します。

申込み研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
C	基礎（後期） <u>生涯（専門）</u>	6月14日（木） 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 総論(2単位) 「産業保健における産業医の役割～産業医活動を実施する際の留意点を中心に～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生

※（誤）生涯（専門） （正）生涯（専門・更新）

申込み研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
G	基礎（後期） 生涯 (専門・更新)	10月27日（木） 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における産業医の健康管理の係わり方～健康管理にもPDCAサイクルを回そう～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生

※（誤）10月27日（木） （正）10月27日（土）

## 平成30年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

※単位制の研修につき、**時間厳守**でお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
終了	基礎研修 (前期のみ) <u>(未認定医対象)</u>	4月26日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 総論(2単位) 「やりがいのある産業医活動」 (2) 健康管理(2単位) 「職場の受動喫煙対策(新型タバコ対策も含めて)」	(1) 伊志嶺 隆先生 (2) 清水 隆裕先生
B	基礎研修 (前期のみ) <u>(未認定医対象)</u>	5月31日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 作業環境管理(2単位) 「産業医活動における作業環境管理の活用法～作業環境測定をどのように作業環境管理に用いるか～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「ストレスチェック時代の産業医が取り組む職場のメンタルヘルス対策」	(1) 青木 一雄先生 (2) 山本 和儀先生
C	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	6月14日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 総論(2単位) 「産業保健における産業医の役割～産業医活動を実施する際の留意点を中心に～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄先生 (2) 加藤 浩司先生
D	基礎(実地) 生涯(実地) <u>【定員60名】</u>	7月12日(木) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) メンタルヘルス対策(3単位) 「職場環境改善による医療従事者のメンタルヘルス不調の予防策」	(1) 山本 和儀先生
E	基礎(後期) 生涯(専門)	8月16日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業環境管理(2単位) 「作業環境管理の把握と活用～作業環境をハードおよびソフト両面から捉えよう～」 (2) 健康保持増進(2単位) 「健康な職員は会社の財産」	(1) 青木 一雄先生 (2) 伊志嶺 隆先生
F	基礎(後期) 生涯(専門)	10月18日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業管理(2単位) 「作業管理の実際～過重労働対策(過労死等予防対策)を中心～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「医療従事者のメンタルヘルス対策」	(1) 青木 一雄先生 (2) 山本 和儀先生
G	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	10月27日(土) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における産業医の健康管理の係わり方～健康管理にもPDCAサイクルを回そう～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄先生 (2) 加藤 浩司先生
H	基礎(実地) 生涯(実地)	12月15日(土) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(3単位) 「職場における健康情報提供の具体策 健康診断事後指導・啓発の実際」 ※パソコンをお持ちの方で、当日持ち込みが可能な方はご持参ください。その場合、モバイルルーター等 Wi-Fi の接続機器もお持ちでしたら、あわせてご持参ください。	(1) 清水 隆裕先生

\*申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願いいたします。

## 参考 沖縄県医師会 産業医研修会年度別開催スケジュール（平成26年～平成30年度）

研修名称		研修内容	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
I 基礎研修	前期研修 (未認定医14単位以上)	(1) 総論(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(2) 健康管理(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(3) メンタルヘルス対策(1単位)	6/19		6/16		5/31
		(4) 健康保持増進(1単位)		4/16		5/25	
		(5) 作業環境管理(2単位)	6/19		6/16		5/31
		(6) 作業管理(2単位)		4/16		4/20	
		(7) 有害業務管理(2単位)		6/18		5/25	
		(8) 産業医活動の実際(2単位)		6/18		4/20	
		(9) その他					
I II 基礎生涯研修	後期研修 (未認定医26単位以上) 更新研修 (認定医1単位以上)	(1) 労働衛生関係法規と関係通達の改正	10/30	5/21	5/19、10/15	7/8、10/19	6/14、10/27
		(2) その他	5/15	7/16			
I II 基礎生涯研修	実地研修 (未認定医10単位以上) (認定医1単位以上)	(1) 健康管理		6/20			12/15
		(2) じん肺の胸部エックス線検査					
		(3) メンタルヘルス対策	11/13	11/12	6/4	7/27	7/12
		(4) 健康保持増進				11/18	
		(5) 救急処置			11/17		
		(6) 作業環境管理・作業管理	8/23				
		(7) 職場巡視と討論					
		(8) その他		7/12			
I II 基礎生涯研修	後期研修 (未認定医26単位以上) 専門研修 (認定医1単位以上)	(1) 総論	5/15		5/19		6/14
		(2) 労働衛生管理体制(総括管理)		5/21、7/12		7/8	
		(3) 健康管理	7/17	8/20	7/14	8/10	10/27
		(4) メンタルヘルス対策	9/13	10/8	8/25	6/15	10/18
		(5) 健康保持増進	7/17		7/14		8/16
		(6) 作業環境管理	10/30		10/15		8/16
		(7) 作業管理		7/16		6/15	10/18
		(8) 有害業務管理		11/26		10/19	
		(9) 労働衛生教育		8/20		8/10	
		(10) その他	9/13		8/25		
		研修会開催回数	8回	10回	8回	8回	8回

## 【未認定医】

- 新規認定の為には基礎研修（前期研修14単位以上・実地研修10単位以上・後期研修26単位以上）合計で50単位以上の修得が必要です。
- 未認定医は「2年程度」で産業医の認定資格が得られます。

## 【認定医】

- 認定産業医の更新には、認定証取得後（有効期限内5年間）に生涯研修（更新研修1単位以上、実地研修1単位以上、専門研修1単位以上）20単位以上の修得が必要です。
- 認定医は1年間では単位取得が可能です。

# 平成30年度 産業保健研修会予定表

## ～産業保健かわら版(前期)～

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。

参加ご希望の方は「申込書」に記載の上、このままFAX(098-859-6176)にてお申し込み下さい。

ホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。(http://www.okinawas.johas.go.jp)

**※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがあります。ご了承ください。**

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1

沖縄産業支援センター 2階

独立行政法人 労働者健康安全機構

沖縄産業保健総合支援センター

TEL098-859-6175 FAX098-859-6176

**本研修会は無料です。**

**※キャンセルの場合は御連絡下さい。**

### ●産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医研修手帳」をご持参ください。)

【研修場所 沖縄産業支援センター3階会議室】

研修会番号	日 時	研 修 テ ー マ	内 容	講 師	研修会場
1	5月23日(水) 18:30~20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレスチェック事例検討会(1)(生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関連した企業及び個別の事例について、産業医と精神科医が事例を提示し、対応の良かった点、課題などについて検討することを通して、実践的な問題解決法を学んでいただけます。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	305室
2	5月31日(木) 18:30~20:30	<b>定員に達しました。</b> 企業の安全配慮義務について～産業医としての関わり(生涯更新)	パワハラ、過重労働などを原因として心の病を患ったことを理由とする労災申請は年々増加傾向にあります。企業における安全配慮義務の重要度も増すばかりです。具体的な事例(裁判例)を踏まえながら、産業医としての関わりを検討いたします。	平良 卓也 (弁護士)	310室
3	7月4日(水) 18:30~20:30	職場の健康管理:高血圧対策(生涯専門)	職業性ストレスで身体におこってくる血圧上昇は要注意・危険サインの始まりです。本講習では産業保健で知っておくべき高血圧対策についてまとめます。	崎間 敦 (産業医学)	308室
4	7月5日(木) 18:30~20:30	脳・心臓疾患の労災認定(生涯専門)	いわゆる「過労死」と労災保険の認定基準などについて学び、「過労死」を起こさせない為に産業医として何ができるかを考えてみましょう。	伊志嶺 隆 (産業医学)	303室
5	7月25日(水) 18:30~20:30	産業医のための労働衛生法令①(生涯更新)	職場の「健康診断」とその事後措置について、関係する労働衛生法令を詳しく説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
6	8月2日(木) 18:30~20:30	動機づけ面接(生涯実地)	動機づけ面接は、アルコール依存症に対する治療成績が良かった治療者の応答手技を解析することにより、体系・確立化された面接スタイルです。本研修では、その動機づけ面接の基本的なスキルの体験をいたします。	清水 隆裕 (産業医学)	308室
7	8月3日(金) 18:30~20:30	うつ病の最近の話題と認知行動療法による予防(生涯専門)	うつ病の最近の話題、認知行動療法によるうつ病の回復と予防、その他	仲本 晴男 (メンタルヘルス)	303室
8	8月10日(金) 18:30~20:30	職場メンタルヘルスの理解と対応(生涯専門)	事業者の法的責任、心の健康保持・指針、過重労働、労災、復職、自殺予防、その他	仲本 晴男 (メンタルヘルス)	303室
9	8月29日(水) 18:30~20:30	産業医が取り組む、病態を考慮した職場のハラスメント対策(生涯専門)	上司や同僚・部下等との人間関係の悪化が職場の生産性を下げ、メンタル不調や休職・退職、労災請求・裁判での紛争に至ることもある。ハラスメントを行なう側、受ける側の病態に即した産業医の立場で取り組むハラスメント対策の方法について学んでいただけます。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	303室
10	9月26日(水) 18:30~20:30	産業医のための労働衛生法令②(生涯更新)	産業医を中心とした産業保健スタッフによる「職場巡回」、「安全衛生委員会の活動」等について詳しく説明します。	前里 久誌 (社労士)	303室
11	9月27日(木) 18:30~20:30	カウンセリング技法を学ぶ(認知行動療法)(生涯専門)	近年、注目されている「認知行動療法」により、いわゆるマイナス思考をプラス思考にギアチェンジするための技法を学びます。	福地 孝 (カウンセリング)	308室

### 申 込 書

**※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。**

FAX 098-859-6176

開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室		研修会番号	1 , 3 , 4 , 5
フリガナ(必須) 氏名				6 , 7 , 8 , 9
所属機関 (事業場名)			所属部署	
職 種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他( )			
電話番号			F A X	

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただきます。また、「かわら版」の研修予定以外に研修会を開催することができますのでホームページをご覧下さい。

## 嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。

\*事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 平成 年 月 日 ( )

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項目	ご希望条件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ( )
病院から事業所までの所要時間(片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日(事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
( )に第何週か記入下さい	①第( )水曜日 ②第( )木曜日 ③第( )土曜日
ストレスチェックの <u>実施者</u> になることについて	①承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの <u>共同実施者</u> になることについて	①承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	①実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	①許可する ②許可しない

メモ欄

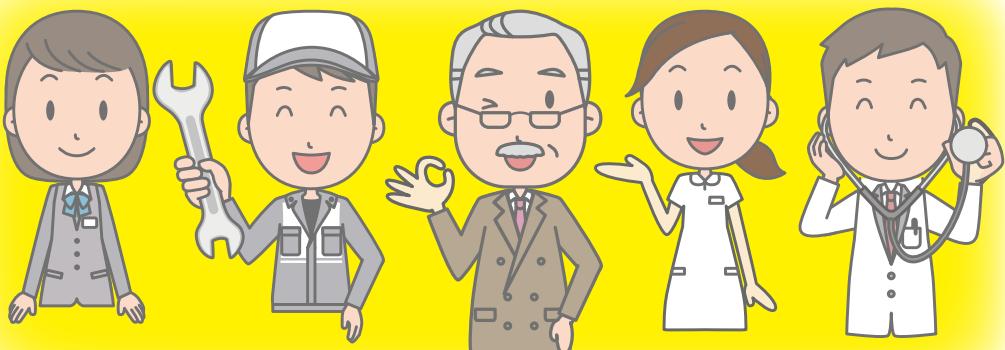
## 連絡先

沖縄県医師会 業務1課(與儀)

TEL:098-888-0087

FAX:098-888-0089

# 企業の明るい未来のために 働く人の「こころ」と「からだ」の健康を 無料でサポート!



沖縄産業保健総合支援センターでは、働く人々の健康を確保するため、研修会の実施や相談への対応など「産業保健スタッフの活動へのサポート」を実施しています。

また、県内各地で「小規模事業場の事業主や働く人への産業保健サービス」を提供するため、地域窓口（那覇・中部・北部・宮古・八重山の地域産業保健センター）を運営しています。

ワンストップサービスによる「産業保健スタッフの活動へのサポート」や「小規模事業場の事業主や働く人への産業保健サービス」を通じて、すべての人が健康で元気に働けることをめざしています。

提供するサービスはすべて無料です。  
皆さまのご利用をお待ちしております。



独立行政法人 労働者健康安全機構

沖縄産業保健総合支援センター



## 働く人の「こころ」と「からだ」の健康が 会社の未来を明るくする!

産業保健スタッフ向けサービス

### 沖縄産業保健総合支援センター

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場で産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者などの方々に対して、産業保健研修や専門的な相談への対応などの支援を行っています。

#### 産業保健関係者に対する専門的研修等

産業医、保健師、看護師、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。研修スケジュールは沖縄産業保健総合支援センターホームページでご確認ください。  
※研修参加には事前のお申し込みが必要です。

#### 産業保健関係者からの専門的相談対応

産業医学、労働衛生工学、メンタルヘルス、労働衛生関係法令等に豊富な経験を有する専門スタッフが、産業保健に関する様々な問題について、窓口、電話、メール等でご相談に応じ、解決方法を助言しています。また、事業場の具体的な状況に応じた専門的な支援が必要な場合には、事業場を訪問する実地相談も実施しています。

#### メンタルヘルス対策の普及促進のための個別訪問支援

メンタルヘルス対策に精通した専門スタッフが中小規模事業場に赴き、ストレスチェック制度の導入について具体的なアドバイスをするなど、職場のメンタルヘルス対策推進のための支援を行います。また、管理監督者や若年労働者を対象としたメンタルヘルス教育も実施しています。

#### 治療と職業生活の両立支援

治療中の労働者が就労を継続するために、事業場に対する支援を行います。特に「がん」などの疾病を抱える労働者を対象とした支援も実施しています。

#### 産業保健に関する情報提供・広報啓発

ホームページ、メールマガジンを通じて、産業保健情報をお知らせしています。  
※メールマガジンのご登録は、沖縄産業保健総合支援センターホームページからお願いします。

#### 事業主・労働者に対する啓発セミナー

事業主を対象とした、職場における労働者の健康管理等の産業保健に関する啓発セミナーや、労働者を対象とした、労働者のメンタルヘルス、生活習慣病対策のセミナーを実施しています。



## 提供するサービスは



私たちは、ワンストップサービスによる「産業保健スタッフの活動へのサポート」や「小規模事業場の事業者やそこで働く人への産業保健サービス」を通じて、すべての人が健康で元気に働けることを目指しています。皆さまのご利用をお待ちしております。

### 小規模事業場向けサービス

## 地域産業保健センター(地域窓口)

沖縄産業保健総合支援センターの地域窓口として、労働基準監督署管轄区域毎に地域産業保健センターを設置しています。地域産業保健センターでは、労働者数50人未満の産業医の選任義務のない小規模事業場の事業者やそこで働く人を対象として、労働安全衛生法で定められた保健指導などの産業保健サービスを提供しています。

※各サービスの利用にあたっては、事前の申し込みが必要です。（利用回数の制限がありますので、お問い合わせください。）

### 労働者の健康管理(メンタルヘルスを含む)に係る相談

健康診断の結果で脳・心臓疾患のリスクが高い労働者に対して、医師または保健師が日常生活面での指導や健康管理に関する情報提供を行うほか、労働者の健康管理に関する幅広い相談に対応します。また、メンタルヘルス不調を感じている労働者に対して、医師または保健師が相談・指導を行います。

### 健康診断の結果についての医師からの意見聴取

健康診断で主な検査項目（「血中脂質」「血圧」「血糖」「尿中の糖」「心電図」）に異常の所見があった労働者に関して、健康保持のための対応策などについて、事業主が医師から意見を聞くことが出来ます。

### 長時間労働者及びストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導

時間外労働が長時間に及ぶ労働者やストレスチェックの結果、高ストレスであるとされた労働者に対し、医師が面接指導を行います。

### 個別訪問による産業保健指導の実施

医師、保健師または労働衛生工学の専門家が事業場を訪問し、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策等の健康管理の状況を踏まえ、総合的な助言・指導を行います。

詳しくは最寄りの地域産業保健センターまたは沖縄産業保健総合支援センターへお問い合わせください。  
(お問合せ先の電話番号などについては裏面をご参照ください。)

すべて 無料 です



## 《地域産業保健センター一覧》

センター名	対象地域	所在地	TEL・FAX
那霸地域産業保健センター	那霸市、浦添市、豊見城市、西原町、与那原町、南風原町、南城市、八重瀬町、糸満市、座間味村、渡嘉敷村、久米島町、粟国村、渡名喜村、北大東村、南大東村	那霸市東町26-1 (一社)那霸市医師会館2F	TEL 098-866-8804 FAX 098-866-8804
中部地域産業保健センター	沖縄市、宜野湾市、うるま市、恩納村、宜野座村、嘉手納町、北谷町、金武町、読谷村、北中城村、中城村	中頭郡北谷町字宮城1-584 (一社)中部地区医師会館内	TEL 098-921-2357 FAX 098-921-2358
北部地域産業保健センター	名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、伊平屋村、伊是名村、伊江村	名護市宇茂佐1712-3 北部地区医師会病院内	TEL 0980-54-5205 FAX 0980-52-4996
宮古地域産業保健センター	宮古島市、多良間村	宮古島市平良字東仲宗根807-5 2F (一社)宮古地区医師会内	TEL 0980-73-0222 FAX 0980-73-7325
八重山地域産業保健センター	石垣市、竹富町、与那国町	石垣市字登野城548-4	TEL 0980-88-5633 FAX 0980-88-5630

※ご利用できる日時は地域産業保健センターにより異なりますので、お問い合わせの上ご利用ください。

### 沖縄産業保健総合支援センター ご利用時間

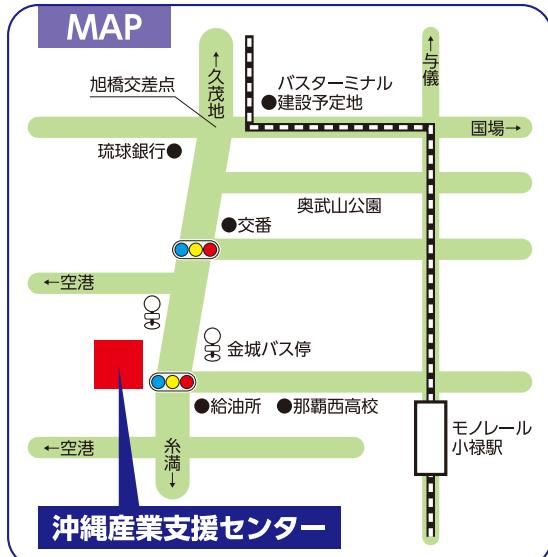
**平日 8時30分～17時15分**

※窓口相談は予約制となっております。

独立行政法人 労働者健康安全機構  
**沖縄産業保健総合支援センター**

〒901-0152  
沖縄県那霸市字小禄1831-1  
沖縄産業支援センター 2階  
TEL:098-859-6175  
FAX:098-859-6176

### MAP



**<http://www.okinawas.johas.go.jp/>**

# 企業の明るい未来のために

## 職場のメンタルヘルス対策を無料でサポート！

職場のメンタルヘルス対策について、**産業保健総合支援センター**や**地域産業保健センター**では、次のような支援サービスを**無料**で提供しています。積極的なご利用をお待ちしています。

### 個別訪問支援

メンタルヘルス対策促進員が、事業場に赴いて、メンタルヘルス対策推進のための支援を行います。裏面「申込書」を用いてFAXにて申し込んでください。

### 管理監督者教育

メンタルヘルス対策促進員が、事業場に赴いて、メンタルヘルス教育を行います。裏面「申込書」を用いて（支援内容13に○を付して）FAXにて申し込んでください。

### 相談（全ての事業場）

専門スタッフが、メール・電話などで、メンタルヘルス対策を検討する事業主・産業医・産業看護師・衛生管理者・衛生推進者・労務担当者などからの相談に応じます。**産業保健総合支援センター**へご相談ください。

### 相談・助言（労働者数50人未満の事業場）

医師や保健師が、事業場や窓口などで、メンタルヘルス対策を検討する事業主・労務担当者など又はメンタルヘルス不調を感じる労働者本人などから相談を受けて助言や指導を行います。**地域産業保健センター**へご相談ください。

### 研修など

産業医・産業看護師・衛生管理者・衛生推進者・労務担当者などを対象としたメンタルヘルス関係の基礎的又は専門的な研修を開催しています。**産業保健総合支援センター**のホームページから申し込んでください。メンタルヘルス関係の事業主向けセミナー・労働者向けセミナー・事例検討会などを企画します。開催案内などは**産業保健総合支援センター**のホームページに掲載します。

### 独立行政法人 労働者健康安全機構

<b>沖縄産業保健総合支援センター</b>	☎ 098-859-6175
<b>那覇地域産業保健センター</b>	☎ 098-866-8804
<b>中部地域産業保健センター</b>	☎ 098-921-2357
<b>北部地域産業保健センター</b>	☎ 0980-54-5205
<b>宮古地域産業保健センター</b>	☎ 0980-73-0222
<b>八重山地域産業保健センター</b>	☎ 0980-88-5633

<http://www.okinawas.johas.go.jp/>

# 申込書

沖縄産業保健総合支援センター あて  
(FAX: 098-859-6176)

平成 年 月 日

事業場名			
代表者	(職名・氏名)		
所在地	〒		
連絡先	(電話) (FAX)		
担当者	(職名・氏名) (E-mail)		
従業員数	人	業種・業務内容	
希望する支援日(訪問日) 第一希望 第二希望			
希望する支援内容(該当に○印)(複数選択可) 1 衛生委員会にかかる支援(衛生委員会での調査審議への助言等) 2 事業場における実態の把握にかかる支援 3 「心の健康づくり計画」の策定にかかる支援 4 メンタルヘルス対策のための事業場内体制の整備にかかる支援 5 職場環境等の把握と改善にかかる支援 6 メンタルヘルス不調者の早期発見と適切な対応にかかる支援 7 職場復帰にかかる支援(下記8を除く) 8 職場復帰支援プログラム作成支援 9 教育研修の実施に係る支援(教育・研修計画の作成支援等)(下記10,11を除く) 10 管理監督者向けメンタルヘルス(ストレスチェックを含む)教育の実施 11 若年労働者向けメンタルヘルス教育の実施 12 ストレスチェック制度の導入に係る支援 13 その他( )			
その他(参考事項)			
支援サービスをお知りになったきっかけ (該当に○印)	1 ホームページ 2 新聞・テレビ 3 各団体の会合・説明会等	4 メールマガジン 5 労働基準監督署等からの紹介 6 その他	

※申込書の内容につきましては、支援サービスの連絡・調整に用いるほか、当センターが行う研修等のご案内に使用させていただくことがあります。

## 労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成27年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。

本セミナーでは、快適に働く職場環境づくりを行なうためのポイントや具体的な進め方等をご説明するほか、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナーパン号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の2週間前までにお申し込み下さい。

日時		時間	プログラム
1	6月11日（月）	13:30 ～ 15:30	「平成30年度 労働行政動向の一大ポイント！をここで学びます（仮） (労務管理の重点事項研修1回目) 内容：36協定の締結実務及び長時間労働抑制について
2	7月23日（月）	13:30 ～ 15:30	「社労士が教える 社会保険と労働保険の実務セミナー」 「1回目 社会保険の基礎実務（仮）」
3	8月13日（月）	13:30 ～ 15:30	「社労士が教える 社会保険と労働保険の実務セミナー」 「2回目 労働保険の基礎実務（仮）」
4	9月10日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成30年度の助成金をまるっと紹介」
5	10月15日（月）	13:30 ～ 15:30	「医療従事者が職場で行うP D C Aの実践（仮）」 内容：ワーク・ライフ・バランス推進リーダーに役立つ事例と ワークショップ
6	11月12日（月）	13:30 ～ 15:30	「平成30年度 労働行政動向の一大ポイント！をここで学びます（仮） (労務管理の重点事項研修2回目)」 内容：労働時間把握、長時間労働抑制を念頭に契約書締結実務

- ✿ セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。
- ✿ セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川218-9）で開催いたします。

### ----- 参加申込票 -----

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	1	2	3	4	5	6
施設名						
職氏名						

沖縄県医師会事務局  
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 崎原  
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

# 沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成30年3月2日発行 第 65号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)  
 〒901-1105 南風原町字新川 218-9  
 TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089  
 mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

## ★ 労務管理トピック

### 「有期雇用労働者の離職理由の取扱いを変更！」

医療労務管理アドバイザー(特定社会保険労務士) 金城 由紀子

平成30年2月5日以降に、有期雇用労働者が労働契約の更新上限到来により離職する場合について、離職証明書の離職理由欄の記載方法が変更されました。変更の対象となるのは、離職する有期雇用労働者のうち次の①～③に該当する人の場合です。

- ① 採用当初はなかった労働契約の更新上限（通算契約期間や更新回数の上限）が、その後追加された人、または不更新条項が追加された人
- ② 採用当初の労働契約上限が、その後引き下げられた人
- ③ 改正労働契約法の公布日（平成24年8月10日、以下「基準日」）以後に締結された、4年6ヶ月以上5年以下の契約更新上限が、到来したことにより離職した人  
※ただし、定年後の再雇用に関し、定められた雇用期限の到来と基準日前から、同一事業所内で一様に、4年6ヶ月以上5年以下の契約更新上限が設定されていた場合を除く

上記①～③に該当する場合の離職証明書の記載例は、厚労省HPのリーフレットをご参考ください。

**☆ 離職した職員の給付内容に影響がありますので、適切な記載が必要です！**

## ★Q&A



### Q : 医師の働き方改革に関して政府がまとめた緊急対策とは

A : 厚生労働省の有識者検討会は2月16日、医師の健康やワーク・ライフ・バランス確保のため、患者への説明など一部の業務を他の職種に任せるタスク・シフティングの推進を柱とした緊急対策をまとめました。

緊急対策は、移管が推進される医師の業務として、①検査手順や入院の説明、②薬の説明や服薬指導、③診断書などの代行入力、④静脈採血・静脈注射、⑤尿道カテーテルの留置などを挙げています。

また、労働時間短縮に向けて、医師の出退勤記録を客観的に把握することや、三六協定で定めた上限時間を超える時間外労働がないか確認することなど、医療機関の取組みを求めています。

あわせて、医療機関の状況に応じた取り組みとして、仕事を終えてから次に働き始めるまでに一定の休息を義務付ける勤務間インターバルや、複数主治医制の導入に向けて検討することも列挙しています。

# 沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 3 月 16 日発行 第 66 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)  
 〒901-1105 南風原町字新川 218-9  
 TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089  
 mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

## ★ 労務管理トピック

医療労務管理アドバイザー  
社会保険労務士 名城 志奈

### 3月は労働条件書面明示・強化月間です！

沖縄労働局では、労働条件書面明示の履行確保の徹底を図るため、新規採用が多い4月を控えた「3月」を「労働条件明示・書面交付強化月間」と位置づけ取組みを推進しています。

労働条件の書面明示とは、労働基準法第15条で“使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を書面を交付し明示しなければならない”規定されています。

労働条件が書面で明示されていないことを原因とするトラブルも多く見受けられることから、雇用の質の確保・改善及び労使のトラブルを未然に防止するためには、労働条件を書面で明示することが重要となっています。

また、今年1月から職業安定法が改正され、募集時の労働条件が変更された場合には労働契約締結前に変更された労働条件を明示することが義務付けされました。

これを機会に労働条件通知書の見直しをしてはいかがでしょうか。



## ★Q&A

Q 労働条件通知書には何を記載すれば良いでしょうか？

ややこしそう。。。  
そうだ、医療労務環境改善支援センターに聞いてみよう



A 使用者は労働者を採用するとき、賃金・労働時間やその他労働条件を書面などに明示しなければなりません。(労働基準法 第15条)

#### ●書面の交付による明示事項

1.労働契約期間 2.就業の場所・従事する業務内容 3.始業・終業時刻、所定労働時間を超える労働の有無、休憩時間、休日、休暇、交替制勤務をさせる場合は就業時転換に関する事項 4.賃金の決定・計算・支払いの方法、賃金の締切・支払いの時期に関する事項 5.退職に関する事項(解雇事項を含む)

#### ●制度を設ける場合には明示する事項

1.昇給に関する事項 2.退職手当の定めが適用される労働者の範囲、退職手当の決定、計算・支払いの方法、支払いの時期に関する事項 3.臨時に支払われる賃金・賞与などに関する事項 4.労働者に負担させる食費・作業用品その他に関する事項 5.安全衛生に関する事項 6.職業訓練に関する事項 7.災害補償、業務外の傷病扶助に関する事項 8.表彰、制裁に関する事項 9.休職に関する事項

※ 6ヶ月契約、1年契約などの期間の定めのある契約(有期労働契約)を結ぶ場合には、契約更新の都度、労働条件の明示(書面の交付)が必要です。

**ご存知ですか？**

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。

将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

**沖縄県医師会**

# 医療勤務 環境改善 支援センター



平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。

本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

## まずは「できるところから」始めてみましょう

**相談****情報  
提供****助言****支援**医療勤務  
環境改善に  
関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）  
労働安全衛生（スタッフ健康支援）  
施設環境整備（ハード・ソフト）  
キャリア形成支援等

診療報酬制度面  
医療制度・医療法制面  
組織マネジメント・経営管理面  
各種補助メニューの活用提案

## お問い合わせ

# TEL:098-888-0087

沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川218-9  
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryou-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>

**【医療勤務環境改善の手順】**

**勤務環境改善をしたい**  
**A病院**

**相談**

**医療勤務環境改善支援センター**

**派遣等**

**A病院**  
勤務環境改善チーム発足

医療労務管理アドバイザー  
(社会保険労務士)

医業分野アドバイザー

アドバイザーの専門的な指導を受けながら、勤務環境改善に努める

**PDCAサイクル**

P 計画 → D 実施  
A 見直し ← C 評価

P lan 方針表明・組織づくり  
D o 改善策選定・自主ルール作成  
C heck 運用と評価  
A ct 定期的な見直し

**日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会  
勤務医の労務管理に関する分析・改善ツール**

[http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien\\_tool201403.pdf](http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf)

**勤務医の労務管理チェックリスト**

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

**勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート**

**沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行**

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089 無料

**沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書**

記入日：平成 年 月 日

所属機関			
連絡先	TEL	内線	
担当者氏名			
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面		
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談		
希望日	平成	年	月 日

**沖縄県医師会**

### 生涯教育／プライマリ・ケア

平成 29 年 7 月 1 日

#### ○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

#### ○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

#### ○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真是明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

#### ○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) … の番号を付してください。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名、雑誌名、発行年；巻：ページ。

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名、(版数)、発行所、発行所の所在地、発行年；引用ページ。

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Wilkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215).

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名、編者名、シリーズ名、巻数、発行所、発行地、発行年；引用ページ。

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名（編者名）：サイト名、URL（最終閲覧日）

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. [http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide\\_0.html](http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html) (2016 年 8 月 16 日閲覧)

### 月間（週間）行事お知らせ

#### ○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

### 発言席

#### ○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

### 勤務医 / 臨床研修医

#### ○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

**地区医師会**

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況  
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

**若 手**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

**随筆 / 新春干支隨筆 / 緑陰隨筆**

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支隨筆・緑陰隨筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

**本の紹介**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

**いきいきグループ紹介**

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

**身近な闘病記**

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

**追悼文**

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

**広 告**

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

**投稿の方法**

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4~7月号)、2期(8~11月号)、3期(12~3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上でお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

**著作権**

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

**送付先・問い合わせ先**

沖縄県医師会 庶務課

〒901-1105 南風原町新川218-9

TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

E-mail: kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

ハイサイ、グスーシューチューガナビラ。編集員デービル！【表紙】は三原内科クリニック喜久村徳清先生の「ゴールデンウィークの孔雀さま」です。「昨年5月の連休、子供の日に名護自然動物園公園ネオパーク沖縄。子や孫たちと久しぶりに寛ぎ散策していると放飼いのクジャクコーナーにたどりついた。近づくと羽根いっぱい広げてみせた。敵に会うと本能的に威嚇するように羽根を大きく広げるとは聞いていたがこのクジャクは愛くるしいポーズ」との先生のコメントです。

## 【平成29年度医療政策シンポジウム】

横倉会長が世界医師会会長に就任したことを受けパネルディスカッションのテーマは『国際社会と医療政策』。基調講演3題。

基調講演1「グローバルヘルスの潮流：これからどこへ行くのか」基調講演2「Global Society and “The health Gap”」基調講演3「保健医療2035策定懇談会の議論ポイント」

## 【平成29年度母子保健講習会】

基調講演1「子育て世代包括支援センターの目指すもの」基調講演2「周産期メンタルヘルス支援を目指して」一般公演1「こころとからだの健康を損なうリスク」一般公演2「周産期のメンタルヘルス～多職種連携の現状と課題～」一般公演3「発達障害幼児の支援～健診での気づきとその後の対応～」

## 【琉球大学医学部新任教授記念講演会】

中西浩一医学研究科育成医学（小児科）講座教授より「小児科のご紹介」

古泉英貴医学専攻眼科学講座教授より「沖縄の眼科医療のために～未来を見据えて～」

## 【沖縄県交通遺児育成会募金の贈呈について】

本会では沖縄県歯科医師会、沖縄県薬剤師会、沖縄県看護協会と協力して募金活動を行っている。県内外個人をはじめ企業・団体・学校・賛助委員など多くの方々から頂いた寄付を交通遺児の学業支援に毎年給付しているとのこと。

## 【第9回沖縄県医師会県民健康フォーラム】

「超高齢社会での運転の問題について」  
演題1「超高齢社会での運転の問題について」  
演題2「高齢者の免許更新について」  
演題3「自動運転の最新の動向について」

【趣味のグループ】「平成29年度沖縄県医師会親睦囲碁大会」～シンギュラリティーを超えて～

## 【生涯教育】「当院における関節リウマチ治療の

実際」豊見城中央病院：腎臓・リウマチ膠原病内科より。メトトレキサートや生物学的製剤などを十分に使いこなし整形外科手術件数が3分の1程度に減少。特に人工関節置換術や滑膜切除術が減少している。

【プライマリ・ケア】介護老人保健施設における「看取り」。介護老人保健施設あけみおの里、石川清司先生より。

一般診療においては根拠に基づいた（evidence based）医療が提供されるが、老健施設においては個々の人生の物語りに即した（narrative based）医療の提供が求められる。一人ひとりの人生をより美しくまとめる過程は貴重な時間である。業務として体験としての「看取り」をとおして看取る側も自らの生き方を見つめる「時と場」としたい。

【インタビューコーナー】小児科医会会長呉屋良信先生。会の構成は会長1名、副会長3名を含めて理事15名。各理事ごとに役職を担当。会員総数120名。平均年齢も上がってきてるので若い世代の先生方の入会が待ち望まれていること。

【発言席】「ロヒンギャ難民キャンプでの医療支援活動に参加して」活動ERサポート林峰栄先生（救急医・バイオリニスト）より。何とバイオリニスト！機動力に感服。歴史的にはインパール作戦のことを表しているのか？

【月間行事】医療法人清心会徳山クリニック永吉奈央子先生より「世界禁煙デーに因んで」～健康長寿復権のためのたばこ対策は胎児・子どもの視点から。受動喫煙の最近の話題を含めて～

【随筆】今月は2編です。

1.佐久本卓哉先生より。今年の3月で91歳。太平洋戦争末期～現代までをふり返っておられます。

医学が進歩し続ける限り医師は勉強を怠ってはならない、とこの年になんでも実感しているとお元気。

2.久場良也先生より。雪国からの脱出～北陸珍道中～。面白おかしい実話！ありきたりのコースよりここに残る良い思い出になったことでしょう。脱出大成功！

今月も日常診療業務のお忙しい中多数の投稿ありがとうございました。

広報委員 兼城 賢作